



3 全ての人に健康と福祉を

「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 廣幡、大坪

柿崎 町永

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）	具体的取組（活動）
1 定期健康診断における 非感染性疾患（生活習慣病） による有所見者を、 次回までに4分の1減少させる	会社及び安全衛生委員会から有所見者の精密検査早期受診を促すとともに、 積極的に通院ができる環境づくりを推進する まず盆休明けまでに、有所見者の半数以上が受診することを目標として、 様々な機会を通し受診へのアプローチを行う。 （2023年結果 要精密検査 40件）
2	

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告	目標（指標）現状
1 9/1現在で要精密検査の受診件数は2/40と目標を大きく下回っている。 朝礼、K Y、工程会議、事務所会議などあらゆる機会を受診を促すとともに、受診できる 環境を整備していく必要がある。（上司から率先して受診する、など） 各個人は、健康遭っての仕事であることを深く自覚し、自身の健康管理について危機感 をもつことが必要である。（今後月1回社内ラインにて状況を配信する）	本年未までに受診件数を半数以上 （20）とする。
2	



4 質の高い教育をみんなに

「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 中川 (重)、星野

柿崎 五十嵐

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標 (指標)	具体的取組 (活動)
1 鉄骨製作管理技術者 1 級 及び 2 級の資格取得 目標値 40名	全社員の資格取得の推進 社内教育と、研修による人材育成の強化 週1回 勉強会の開催 (柿崎はリモートでの参加) 現在 (1級) 31名、(2級) 1名、【合計】32名 ※試験合格し実務経験年数待ちが 1 名
2 溶接技能資格 JIS資格保有者のAW検定取得 目標値 : JIS資格保有者に対する AW保有の割合を50%	全社員の資格取得の推進 社内教育と、研修による人材育成の強化 AW受験者に対して、試験日の1週間前に教育を行う 現在 JIS有資格者32名、AW検定有資格者8名【AW検定保有率 25% (R含)】

2023年度 9月中間報告

目標 (指標) 現状	目標に対する取組状況、活動報告
8名以上の合格で目標の40名が達成になる。	1 今年度1級を10名受験する予定(本社2名、柿崎7名、現場1名) 2023年10月21日 1級鉄骨製作管理試験 週1回の勉強会は毎週末実施している。
全員合格で40.6%。	2 9/11 5名受験予定(本社2名、柿崎3名)



5 ジェンダー平等を実現しよう

「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」

SDG s 推進委員

杉野袋 藤川、小川（紗）

柿崎 小山（加）

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）	具体的取組（活動）
1 女性活躍推進法に基づき社員の働きやすさ向上を目指す	仕事と家庭を両立できるような社内規則や制度を会社へ提案し、実現させる 公表している他社の女性活躍推進法行動計画を参考にし、社員の意見をまとめて、会社へ打診する
2 育児・介護休業制度の周知、取得向上を目指す	全社員に制度の利用条件、利用方法をわかりやすく説明し、取得を促す 取得しやすいような規則や雰囲気づくりを会社へ打診する

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告	目標（指標）現状
1 公表している他社の一般事業主行動計画を確認したところ、 ・女性社員の採用を増やす。・女性社員のキャリアアップを目指す。・女性専用の設備を充実させる。等、いろいろありましたが、ほぼ共通して各社が目標として挙げていたのは「育児休業取得向上」でした。 上記を踏まえ、目標1の活動内容は目標2と同じとします。	
2 6月9日(金)15:15～ 第2会議室にて、現状の就業規則と法律との相違点を指摘した。 9月2日(土)メールにて 改定後の就業規則と法律との相違点を指摘した。	



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的 エネルギーへのアクセスを確保する」

SDG s 推進委員

杉野袋 小菅、伏江

柿崎 新川

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標 (指標)	具体的取組 (活動)
1 排出CO2ガスの削減 社有車のハイブリット車、EV車への移行 目標値 80%	社有車両の排出CO2ガスの削減の為、ハイブリット車、EV車へ移行 【車両入れ替え時、新規購入時にハイブリット車、EV車に移行する】
2 LED照明によるCO2削減 LED照明に移行 目標値 83%(杉野袋工場) 36%(柿崎工場)	蛍光灯照明によるCO2削減の為 LED照明へ移行 杉野袋工場 2022年度、杉野袋工場事務所の照明数138台の内110台LED照明に移行 割合79.7% 2030年度目標達成100%には、毎年度約3%、台数にして4台移行する。 柿崎工場 2022年度、柿崎工場事務所の照明数63台の内12台LED照明に移行 割合25.4% 2030年度目標達成100%には、毎年度約12%、台数にして7台移行する。

2023年度 9月中間報告

目標 (指標) 現状	目標に対する取組状況、活動報告
目標値80% 移行率 44.4%→47.2%	1 12月に柿崎工場の社有車を1台ハイブリッド車に更新予定。 9/19台 47.2%
杉野袋工場 (目標値83%) LED照明化率 86.2% 柿崎工場 (目標値36%) LED照明化率 100%	2 杉野袋工場事務所照明9台をLED照明に取り替えた 柿崎工場事務所照明47台をLED照明に取り替えた (LED化の目標を達成したので次年度新たな目標を設定する)



8 働きがいも経済成長も

「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ
生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 横田、風間

柿崎 高島

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）	具体的取組（活動）
1 有給取得率の向上 目標値 60.00%	有給休暇取得奨励日の設定 有給休暇を取得しやすい環境整備（奨励日の増） 2024年度の有給奨励日の設定を増やして頂けるように打診する
2 全社員ノー残業デーをつくる 月1回以上 (全社員がノー残業の達成回数)	SNS（ライン）で社員への一斉配信をしてノー残業日を周知する 全社員が見る場所にノー残業デーを知らせるポスター等掲示をする (水曜日、土曜日はノー残業デー)

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告	目標（指標）現状
1 2024年度の有給奨励日の設定を増やして頂けるように打診する 2023年度 4月～8月末での取得状況を確認して奨励日を増やすか検討	2022年度 66.53% 2023年度 8月まで 37.95%
2 水曜日、土曜日の10：00又は、12：00にラインにて社員全員に『ノー残業デー』を告知しています 指紋認証の場所にノー残業デーを掲示し周知しています	全社員ノー残業デーは未達成 柿崎事業所 3回達成 本社工場 1回達成 本社事務所 0回



10 人や国の不平等をなくそう

「各国内及び各国間の不平等を是正する」

SDG s 推進委員

杉野袋 松山、柳澤

柿崎 熊木

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）	具体的取組（活動）
1 社内環境の平等維持	<p>「公平委員会」（名前は仮）の発足</p> <p>社員が不平等と思う事などの意見や相談を受け、議題に対して問題点を探る。</p> <p>早急な対応策・改善策の立案、実行、経過に対するの適正な判断と処理を行う。</p> <p>（コンプライアンス、ハラスメントに関わる事案は早急な対応を行う）</p> <p>受付は、基本随時だが、1回/月に社員へのヒアリングを行う。</p> <p>ヒアリングをする社員は、その都度決める。（気になる社員をピックアップする）</p>
2	<p>また、判断や処置、改善内容が公平に行われているかをSDGs推進委員に1回/6か月報告をし、適正かの判断を受ける。</p> <p>受付先は、熊木・松山・柳澤とする。</p>

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告	目標（指標）現状
<p>1 ヒアリング実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月20日 ベトナム事務所 4名実施 ・7月24日 杉野袋工場 事務所2名・工場1名実施 ・8月29日 柿崎工場 事務所2名・工場2名実施 ・9月 杉野袋工場予定 	<p>引き続き、1回/月のヒアリングを実施していく。</p>
2	



11 住み続けられるまちづくりを

「包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」

SDG s 推進委員

杉野袋 堀口、佐藤（貴）

柿崎 星野（祐）

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）		具体的取組（活動）
1	会社敷地以外の清掃活動の実施 目標値 年3回以上	会社周辺道路の清掃を行う (春、秋の工場ヤード清掃時に活動を行う。) (杉野袋、柿崎工場同日に実施)
2	消火設備等の設置場所の周知	消火器・AED等の設置場所をマップにして、全員の目が届くところに掲示する。 (柿崎工場のAED設置場所の変更予定、常時使用できる場所へ)
		防災活動を計画し、実施する(年1回) (例：避難訓練、AED講習、消火器講習など)

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告		目標（指標）現状
1	4月14日に本社周辺道路の清掃を行いました。	10月～11月に本社・柿崎で会社周辺道路の清掃を行う予定です。 本社2回、柿崎1回 計3回
2	消火器・AED等の設置場所のマップ作成後、食堂・各工場に掲示しました。 AED・担架等常時使用できる箇所への移動を行いました。	マップを掲示したことにより、設置場所の周知ができました。
	実施日、訓練内容等調整中です。	10月中頃に防災訓練を実施する予定です。



12 つくる責任 つかう責任

「持続可能な生産消費形態を確保する」

SDG s 推進委員

杉野袋 西條、竹内

柿崎 小山（拓）

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

目標（指標）	具体的取組（活動）
1 エコキャップ回収	自販機横にエコキャップ回収BOXを設置する 本社2箇所、柿崎2箇所 集めたキャップは回収先へ宅急便or直接持ち込みをする 4月～スタート予定 (回収したキャップはNPO法人エコキャップ推進協会へ送り 医療支援や海外のワクチンに使われる) → 認定NPO法人JCVへ変更
2	

2023年度 9月中間報告

目標に対する取組状況、活動報告	目標（指標）現状
1 回収BOXの設置 ポスター作成、掲示 キャップの回収、集計 (近日中に発送予定)	本社2箇所 柿崎3箇所 本社3箇所 柿崎1か所 本社約3000個 柿崎約3200個
2	